

掴め君の未来を！

令和5年2月号

慶進中学校・高等学校
進学指導部
令和5年1月25日発行



3年生は、共通テストお疲れさまでした。現在、国公立大学の前期・中期・後期日程の出願校が、決まりつつあるところだと思います。出願校が決まれば気持ちを切り替えて、私大入試や国公立大学個別学力検査（以下、2次試験）に向けて、勉強に集中していきましょう。前期日程の2次試験まで、残り1か月です。今月号の「国公立大学2次試験対策」の記事を参考にしてください。2年生にと

って、次の共通テストは皆さんの番です。受験のカウントダウンがすでに始まっていることを意識しましょう。1年生は、1月の模試が終わると、次の模試は2年生の7月までありません。それまでの半年間でいかに実力アップを図るかが、皆さんにとっての勝負です。

●大学入試トピックス～大学入試共通テスト速報

① 全体概観

大学入試センターは1月20日、大学入学共通テストの大半の受験者の採点を終え、各科目の平均点の集計を発表した。理科②のうち物理と生物で23.65点差がついており、化学も含めて得点調整を実施する。生物の平均点は過去最低となる見通し。そのほか、世界史A、政治・経済、物理基礎も過去最低の平均点になりそうだ。

② 教科・科目別平均点(1月20日発表の中間集計)

教科名	科目名	受験者数	平均点	
国語	国語	445,205	105.74	
	地理歴史	世界史B	78,168	58.43
		日本史B	136,993	59.75
公民	地理B	138,972	60.46	
	現代社会	64,651	59.46	
	倫理	19,871	59.03	
	政治・経済	44,695	50.96	
数学	倫理、政経	45,561	60.59	
	数学Ⅰ・A	346,509	55.65	
	数学Ⅱ・B	316,619	61.48	

(「高校生新聞オンライン」(1月20日)の記事より作成)
(受験者数 471,150人)

教科名	科目名	受験者数	平均点
理科	物理基礎	17,968	28.19
	化学基礎	95,482	29.42
	生物基礎	119,698	24.66
	地学基礎	43,054	35.03
	物理	144,866	63.39
	化学	182,168	48.56
	生物	57,875	39.74
英語	地学	1,655	49.88
	リーディング	463,805	53.82
	リスニング	461,832	62.35

●共通テスト後の得点アップ戦略

共通テストも終わり、次は国公立大2次試験(前期日程)です。最初の関門である共通テストを終え、緊張の糸が切れていませんか？2次試験までの約1か月にも、現役生の実力はまだまだ伸び続けます。最後まで粘り強く勉強していきましょう!!

戦略1 具体的な過去問演習の計画を立て、「解く⇒答え合わせ⇒復習」+αを!

共通テスト後は、実戦を想定した過去問演習が中心になる。カレンダーに「○大学○年」と書き込み、前期日程までの予定(いつ・何を解くか)をあらかじめ決めてしまおう。そして、演習時間もなるべく本番に合わせて、毎日「解く⇒答え合わせ⇒復習」を繰り返すのだ。ただし、復習が不足しないよう、3日に1日を目安に予備日を設けておくことよ。問題の復習を終えても時間に余裕がある日は、実戦演習以外の「+α」の学習に取り組もう。限られた時間の中で効率よく伸ばせる科目や単元を見極め、課題を列挙し、優先順位をつけて順にこなしていくイメージだ。中途半端になることがないよう、一つひとつやり切ることを意識してほしい。

戦略2 直前期の課題は人それぞれ。己を知り、自分に必要な対策に注力!

過去問演習を学習の基本に据えつつ、「+α」の学習は今の自分に必要なことに特化しよう。直前期にやるべきことは人それぞれなので、周囲と比べる必要はない。大学ごとの志望順位や合格可能性を冷静に見極め、まずは過去問の年数(分量)を適切に配分することが重要だ。「+α」の学習は、「できる・できそう・できない」のうち、「できそう」を「できる」にすることに重きを置こう。この時期に模範解答を読んでも理解できないような問題が、入試本番までにできるようになるとは考えづらい。「できそう」を「できる」にするだけで合格点に達する受験生は意外に多い。思い切って捨てるものは捨てるのが、合格率アップにつながるのだ。

戦略3 基準は「本番の得点につながるか」だけ!決めたことは、徹底的にやり抜く

不安になると、あれもこれも手を出したくなるもの。毎年この時期に新しい教材に取り組む受験生が増えるが、無計画に新しい教材に取り組んでも、中途半端になって本番の得点につながらない。何をやるかは、「本番の得点につながるか」の一点で冷徹に判断しよう。過去問を除けば、基本的には新しいことではなく、これまでにやってきた教材の復習に重点を置いてほしい。やるべきことは人それぞれだが、重要なのが「やり抜く」こと。解いたら復習する、覚えられないまで繰り返すということを、誰よりも徹底しよう。本番は時間制限や緊張のため、自分の持つ力を80%出せれば御の字だ。ただ「できる」というレベルではなく、「どんな状況でも間違えるはずがない」という高いレベルを目指して本番に臨んでもらいたい。

- ☆共通テスト後に「伸びる人」はここが違う!
- 生活リズムが乱れず、必要な睡眠時間を確保している
- 加点方式で考え、できる事に集中して取り組んでいる
- 勉強すべき内容が具体化できており、迷うことがない
- 時間の使い方にメリハリがあり、うまく休めている
- 受験校・科目ごとに何点をとればいいのか即答できる

●面接試験・小論文試験対策

国公立大学の2次試験や一部の私立大学の一般選抜で、面接や小論文が課される場合があります。今まで何の対策もしておらず、自信のない人も多いと思います。でも大丈夫です!2次試験まで1か月の時間があります。しっかり準備し、何度も練習を積み、十分に試験に間に合います。対策の詳細は、「掴め君の未来を!」の11月号(慶進のHPで掲載中)で特集していますので、参考にしてください。面接練習や小論文の添削は、先生に足を運んだ数だけ力になります。先生に相談しながら、積極的に練習を積んでいきましょう。

●先輩の合格体験記 昨年の先輩方の「2次試験」直前の心境を抜粋して掲載しています。

<p>九州大学芸術工学部</p> <p>共テリサーチの結果がそこまで悪くなかったのも、あまり焦ることなく過ごすことができました。2次試験の方が得意だったので、このまま不安になることなくやり切ろうと頑張りました。</p>	<p>千葉大学国際教養学部</p> <p>共テと比べると全く焦りや緊張はありませんでした。やれることはすべてやっと思ったので、それをぶつけるだけだという気持ちでした。また受験が県外でたくさん歩きすぎて疲れたので、眠れないこともありませんでした。</p>	<p>東京大学理科一類</p> <p>苦手な国語にほとんど手を付けていなかったことへの不安を除くと、緊張しませんでした。本番2日前に東京に行き、ホテルから試験場までのルートを確認しました。</p>
<p>北九州市立大学法学部</p> <p>小論文の対策を始めたのが1月の下旬で遅かったこともあり、少し不安でした。でも「毎日小論文を書いてきた。大丈夫」と思って試験に臨みました。共通テストより不安な気持ちが強かったです。</p>	<p>福岡県立大学看護学部</p> <p>小論文だったので不安はありましたが、今まで練習してきたことや先生から言われたことを思い出し、自信を持って本番に臨むことができました。小論文は苦手でしたが、1日1題書くことで自信を持つことができました。</p>	<p>東京工業大学環境・社会理工学院</p> <p>前日は、「僕が大学の教授だったらどんな問題を出すだろうか」と、楽しみながらヤマを張っていました。すると意外に精神が安定しました。</p>

●2024年度・2025年度入試に向けて～現2年生・1年生が受験する入試

① 大学入試で女子枠を設ける大学が増加～主に工学部系統、総合型・推薦型で

昨年11月、東京工業大学(東工大)が総合型選抜、学校推薦型選抜で2024年入試(現2年生が受験する入試)から女子枠を設けると発表した。これまでも伝統的に男子学生が多い工学部で女子枠が設けられることはあったが、富山大学・名古屋大学・島根大学でも今年度から女子枠を設けるなど、女子枠増加の動きが見られる。女子枠の導入に大きく関連するキーワードは、「多様性」である。文部科学省も大学に対し、多様な背景を持った者を対象とする選抜を行うことを求めているが、特に理系分野では以前から多様な学生の確保について課題となっていた。また、理系の女子を増やすために、奈良女子大学が2022年に工学部を設置、お茶の水女子大学は2024年に共創工学部(仮称)を設置する(構想中)など、新しく理系学部を設置する動きもある。

② 2025年共通テストの試作問題、配点等公表

昨年11月、大学入試センターは2025年度(現1年生が受験する入試)からスタートする新課程対応の大学入学共通テスト(以下、共テ)の試作問題を公表し、あわせて出題教科・科目の時間割や配点等も公表した。配点は、新教科「情報」が100点、その他はこれまでの共テと変更ない。「国語」は試験時間が80分から90分に延長され、近代以降の文章の大問構成が2問から3問に増加する。これに伴い、分野ごとの配点が、近代以降の文章が110点、古典が90点(古文、漢文各45点)となる。また、「地理歴史」「公民」では、「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」は総合科目が25点、探究科目が75点、「公共、倫理」「公共、政治・経済」は公共が25点、倫理、政治経済がそれぞれ75点、「地理総合、歴史総合、公共」は各科目50点(2分野選択)となる。

旧課程履修者(現2年生以上)への対応について、2025年度に限り旧課程履修者が選択できる経過措置科目を用意される。旧課程履修者は新課程科目と経過措置科目のいずれも選択でき、新旧両課程の教科を混ぜて選択することも可能。また「情報」は、旧課程「社会と情報」「情報の科学」の共通部分に対応した必答問題と、「社会と情報」「情報の科学」それぞれに対応した選択問題が出題される。

●進路探究学習の取組～2学期に実施された進路探究学習の取組を紹介します

【グローバルコース】 高大連携行事

11月16日(水)にグローバルコース2年生が、11月18日(金)にグローバルコース1年生が、姉妹校の山口学芸大学、山口芸術短期大学を訪問し、高大連携教育を行いました。大学の説明や模擬講義、大学生(慶進卒業生)との交流を通じて、大学生生活を具体的にイメージすることができました。また、学ぶことの意義や学問が将来の職業にどう繋がっているかを考える機会となりました。



【アドバンスコース】 大学訪問

12月12日(月)、アドバンスコースの1年生が、山口大学吉田キャンパス・常盤キャンパスの2カ所に分かれて大学訪問を実施しました。大学の概要説明、各学部・学科の紹介や模擬講義、キャンパス内の見学などを通して大学を身近なものとして捉え、より明確な目的意識を持つことができました。また、現役大学生(慶進卒業生)との懇談会を通して、受験に必要なことを再確認し、学習意欲も向上した様子でした。今後の文理選択や進路決定のための大変貴重な時間になりました。



2月の進学スケジュール	
3日(金)・4日(土)	ベネッセ大学入学共通テスト模試(Ⅱ)
7日(火)	異文化交流会(ⅠⅡG)
10日(金)	学年末試験日割発表
11日(土)	駿台全国模試(ⅠⅡAS 希)
17日(金)～24日(金)	学年末試験(ⅠⅡ)
25日(土)・26日(日)	国公立大前期日程
26日(日)	実用英語技能検定二次試験